

平成18年度 社会福祉法人 多摩同胞会事業報告要約総括

平成19年5月25日 理事会・評議員会資料

	法 人 事 務 局	高 齢 者 施 設					母 子 施 設		
		泉 苑	あさひ 苑	緑 苑	か ん だ 連 雀	岩本町ほほえみプラザ	きずな	しらとり	たっち
平成18年度 目標・課題	1. 法人60年記念事業 2. 事務局体制の確立 3. 制度改正に伴う事業 4. 新規事業開発 5. 職員育成 6. 内部監査の充実	1. その人らしい暮らし実現 2. 制度改正への対応 3. 人材育成 4. コスト意識 5. 地域貢献 6. 建物設備の維持管理 7. 安全対策強化	1. 人材育成 2. サービス向上 3. 制度改正に伴う新規事業 4. 公設施設の役割明確化 5. ボランティア体制、就労体系整備 6. ホーム入所指針提案	1. 措置施設としての機能維持 2. 残存能力生活活力再発見 と自発的な生活への挑戦 3. 制度改定の理解と事業展開 4. 地域の拠点としての進展 5. 職員確保と育成 6. 正しいマナーと言葉使い 7. ボランティアの拡大と充実 8. ケアプラン業務の確実な遂行	1. 人権の尊重 2. 60周年事業への取組 3. 制度改定への対応 4. 人材育成 5. サービス評価への取組 6. リスクマネジメント 7. 稼働率向上 8. 地域交流の推進 9. 新しい事業の取組	1. 職員の育成 2. 事業の一体的運営 3. 地域交流の推進 4. 指定管理者として区民の福祉 向上と効率的運営	1. 利用者、職員の心のケア 2. ボランティアの活用 3. 専門性の向上、他機関との連携 4. 人材育成 5. きずなの属性を生かした支援 6. 母子生活支援システムの活用 7. 指定管理及び民間委譲化への 対応策の検討	1. 安心・安全に利用できる建物 管理と維持 2. 要保護児童対策と虐待防止 対策の推進 3. たっちとの連携による市内子 育て支援の拡充 4. 大規模修繕 中長期経費計画の策定 5. 相談を受ける場の確保	1. 利用者に信頼される施設作り 2. 安心安全な利用の場提供 3. 利用者本位のひろば事業 4. ボランティアの育成 5. 市と一体の相談体制 6. 基本的マニュアルの作成 7. 効率的運営の確立 8. しらとりとの協働
平成18年度 目標達成状況	1. 総務 ①事務局体制の確立3ヵ年計画 2年目 ②定款変更等円滑な事務手続 ③規定等整備 ④常任委員会、理事会、評議員 の円滑運営 ⑤内部監査の充実 ⑥人材育成の取り組み 2. 企画広報情報 ①法人60周年事業実施 ②スウェーデン交換研修3年目 韓国交換研修2年目 ③季刊しんあい3号発行 ④ホームページ更新 3. 財務経理 ①経営の健全性と資金有効活用 法人積立・建設積立金 ②施設支援 ③コスト削減推進 食材35社、一般29社との契約 ④事務員レベルアップ推進 4. 人事給与 ①異動職員13名 3名(母子管理職) ②昇格者75名 ③退職者45名・正規職員採用29名 ④産休、育休10名・休職2名 ⑤新卒者、看護職採用困難 ⑥賞与 夏1. 9ヶ月・冬2. 3ヶ月 (うち0. 2ヶ月は査定) 5. システム ①システム窓口担当者会議 ②セキュリティ対策実施 ③書式規定オンライン化 ④人事管理・勤怠システム運用開始 ⑤介護システム安定稼働 ⑥ホームページ担当者会議 ⑦システム研修実施	1. サービス調整室 ①契約書、重説改訂 ②情報公表制度初年度 ③納涼祭に367名来苑 ④修繕計画次年度持ち越し ⑤苦情10件 2. 在宅介護支援センター ①相談件数4,320件 ②実態把握率 73. 8％に ③介護予防教室90回、健診22回 ④在支PR推進 3. 居宅介護支援センター ①プラン数減少 ②予防給付への円滑移行 ③スキルアップ ④茶話会4回実施 4. 食事 ①食事内容検討 ②衛生勉強会開催 ③新調理システム技術向上 ④チーム力向上の取り組み 5. 看護 ①通院、入院の増加 ②医師変更 ③感染症対策実施 6. ホーム ①入所32件(前年度比10件増) ②アセスメント、モニタリング確実実施 ③歯科衛生士による口腔ケア ④骨折事故5件 ⑤拘束解除1件 7. ショート ①稼働率109％と低迷 ②機能訓練、アクティビティ充実 8. デイサービス ①介護保険改正説明会4回 ②利用者平均38. 8名／日 ③入浴18名／日へ拡大 9. 地域デイ ①実績延4,086名 ②1教室鳳仙寮へ移行 10. 推進事業 ①在支との連携密に ②介護予防活動協力者5名 ③転倒予防教室登録51名・延560名 ④失禁予防教室登録39名・延334名 ⑤低栄養教室登録6名・延56名 ⑥認知症教室登録25名・延337名	1. サービス調整室 ①マニュアルⅡ推進 ②オンブズパーソン12回・延28名 ③実習生延400名 ④ボランティア延1,534名 ⑤内部研修延592名 2. 在宅介護支援センター ①地域包括支援センターとの協力 ②ホームとの協働 ③地区別高齢者支援連絡会4回 ④介護予防健診300名 3. 居宅介護支援センター ①運営基準遵守 ②緑苑居宅廃止の引継ぎ ③ケアマネ難民受け入れ 4. 食事 ①安心安全な食事作り ②食の自立支援事業延135人 ③厨房改修工事 ④衛生管理徹底 5. 看護 ①予防の観点により対応 ②感染症予防対策 ③口腔ケアの重要性 6. ホーム ①入所30件・稼働率93. 1％ ②成年後見制度4名 ③介護室整備 ④個別訓練3,823名 7. ショート ①平均利用者11. 7名／日 ②緊急受け入れ実施 ③散歩・アクティビティ実施 8. デイサービス ①利用者平均49名／日 ②介護計画書新書式に書き換え ③介護予防通所介護開始 9. 地域デイ ①登録187名・延6,160名 登録者は減少傾向 ②第1地区の事業充足 10. 介護予防 ①転倒予防3教室、認知1教室 低栄養1教室 ②尿失禁リスク者なし 10. 入浴送迎 ①福祉入浴減少 14名 ②通所介護利用者増,1984名 ③ホーム介助浴増 11. 訪問介護 ①泉苑訪問介護との統合 ②援助時間10％増	1. サービス調整室 ①退職者による業務負担増 ②オンブズパーソン6名3グループ年6回 ③地域合同防災訓練2回実施 ④屋外照明灯設置防犯対策 ⑤ひやりはっと書式見直し 2. 在宅介護支援センター ①家族介護者5回 ②地域支援連絡会 ③介護予防教室 ④体操教室月1回 3. 居宅介護支援センター ①プラン月平均44. 8件 ②在支との協働 4. 食事 ①個別食事摂取基準を算定 ②冷凍庫増設 5. 看護 ①終末ケア意向確認5名 ②感染症、褥瘡、安全対策推進 ③褥瘡に新療法導入 ④口腔機能維持体操定着 6. ホーム(特養) ①統一ケアプラン書式導入 ②マナー向上の徹底 ③福祉機器の活用 ④確実な記録 7. ショート ①稼働率低迷 ②独居高齢者優先利用 ③緊急ショート受入れ 8. 機能訓練 ①個別機能訓練実施 ②自助具提供 ③転倒防止月間2回 9. 地域デイ ①ボラ定着 ②計画的な外出活動提供 10. 養護 ①委員会活動中止し生活支援へ ②個別援助方針計画策定 ③支援員による要介護者援助 ④介護予防の取り組み	1. サービス調整室 ①岩本との連携 ②入食時マナー研修必須 ③ボランティア受入れ ④地域との相互応援協定書締結 ⑤節約の徹底 ⑥リスクマネジメント 2. 在宅介護支援センター ①ネットワークづくり要 ②千代田区ケアマネ連絡会運営委員 ③普及啓発活動要 ④よろずケア事業迅速対応 3. 居宅介護支援センター ①予防プラン受託せず ②他職種との連携 4. 食事 ①喫食状況ノート活用 ②ベースト食の見た目の工夫 ③岩本との協力体制 5. 看護 ①早期発見・早期治療 ②感染症予防マニュアル作成 ③経口摂取困難者増加 ④介護職への助言 6. ホーム ①統一ケアプラン書式導入 ②マナー向上委員会開催 ③機能回復訓練開始 ④身体拘束全面廃止 ⑤委員会・研究会定着 7. ショート ①個室の活用 ②デイサービス利用 ③送迎に柔軟対応 8. デイサービス ①稼働率80％ ②アンケートによるニーズ調査 ③茶話会開催 ④入浴へのニーズは課題 9. 高齢者住宅 ①支援センターとの連携 ②入居者21世帯23名 ③生活協力員、住宅管理業務遂行	1. サービス調整室 ①安全を職員全員でチェック ②苦情18件 ③スウェーデン研修受入れ ④ほほえみフェスタ2006開催 ⑤改修工事により減収 2. 区民施設 ①稼働率前年比30％増 ②東神田地区で知名度アップ 3. 食事 ①嗜好調査結果を献立に反映 ②行事食に工夫 ③連雀との連携 4. 看護 ①医療情報収集 ②感染症予防実施 ③歯科衛生士による口腔ケア 5. グループホーム ①平均介護度2. 3にアップ ②認知症教育重要 6. ショート ①職員半数入れ替わり ②職員の介護技術習得が課題 ③改修工事終了 7. デイサービス ①個別機能訓練開始 ②介護予防プログラムスタート ③稼働率減 8. ケアハウス ①稼働率92％ ②改修工事7室 ③家事援助、通院援助増 ④自立度低下 ⑤他部署との情報交換	1. 運営管理 ①文書管理面に進歩 ②内部研修の充実を図る ③第三者評価―職員への要望増 ③母子生活支援ソフト活用不十分 2. 母親に対する支援 ①母子支援員の市への移管により 自立支援の話し合い不十分 ②就労促進・就労率73％ ③心理職による心のケア充実 ④相談の場の提供 3. 学童に対する支援 ①日常的な学習指導 ②あいさつ運動励行 ③団体競技による信頼感の醸成 ④遊びのボランティア ⑤心理対応の部屋確保 ⑥中高生対応の交流会 4. 乳幼児支援 ①乳幼児急増35名 ②日祭、病児保育の充実 ③地域保育園との情報共有 ④基本的生活習慣獲得指導 5. 地域活動 ①地域行事への積極的な参加 ②地域関係機関との連携を密に ③緊急一時保護33世帯利用	1. 運営管理 ①防災意識・技術向上推進 ②部外者進入防止対応 ③感染症予防対策 ④外部職員研修派遣 ⑤個人情報保護対策 2. 母親に対する支援 ①定期面接と自立支援計画作成 ②専門職による心のケア ③ミニマザーグループ9回 ④母親懇談会毎月2回 ⑤就労支援、技能習得支援 3. 学童に対する支援 ①行事体験による豊かな心育成 ②ストレスマネジメントプログラム実施 ③長期休暇前の保護者説明会 ④5年生以上の個別プログラム 4. 保育に対する支援 ①基本的生活習慣獲得援助 ②健康管理徹底 ③オープンルームで地域との交流 5. 子ども家庭支援センター ①たっちとの連携による事例検 討・各種研修の実施 ②地域支援会議(38回)を実施 し情報を共有した。 (新規相談 244件虐待相談21 ③オープンルームの実施 (全28回(あおぞらOR6回) 1871 ④NPプログラムの実施(3回 62 ⑤トワイライト保育 1日19. 6名 (登録167名) ⑥ショーツステイ事業 延べ128名 ⑦緊急一時保護事業 19件 延べ520名 ⑧病後児保育事業の実施 登録者数 76名 利用者数 28名(前年38名)	1. 運営管理 ①府中市子育て支援の中核施設に ②毎月防災訓練実施 ③「さすまた」による防犯訓練 ④利用者アンケート実施 ⑤個人情報保護徹底 ⑥限られた職員体制で業務推進 2. 総合相談事業 ①市5名、法人専任2名・兼務4名 の相談体制 ②新規相談764件 ③虐待相談は3割 ④気軽な相談で早期予防 ⑤「すやすやころりん」クラブ 3回開催 ⑥カンガルータイム4回開催 3. ひろば事業 ①登録総数22,484名 市内10,799名、市外11,685名 ②H18は市外が67％ ③利用者総数281,717名 H18は128,649名。1日361名 ④入管制限実施日あり ⑤季節スポーツタイム実施 ⑥ボランティア11名 4. リフレッシュ保育 ①常勤2名、非常勤4名、1日3名体制 ②新規登録457名延登録1,234名 ③利用延1,320名。増加傾向 ④利用理由半数はリフレッシュ ⑤電話予約可能に ⑥相談時の保育実施 5. ファミリーサポート ①会員総数1,107名 ②新規登録279名 ③活動件数5,033件 ④スキルアップ企画講座開催 ⑤交流会年2回 ⑥定例会年10回 ⑦通信3回発行
平成19年度 事業計画 重点ポイント	1. 法人理念の浸透 2. 事務局体制の確立 3. 人材確保と育成強化 4. プロジェクト推進 府中、神田地区 母子生活施設の新展開 NPO法人立ち上げ シニアの組織化	1. 人材育成 2. サービス向上 3. 組織力強化、体制整備 4. 在宅サービス組織の見直し 府中、神田地区 母子生活施設の新展開 NPO法人立ち上げ シニアの組織化	1. 人材育成 2. サービス向上 3. 組織づくり 4. 安心・安全 5. 運営基準遵守	1. 個人契約型措置施設運営定着 2. 自立支援・ケアサービス向上 3. 生活環境整備 4. 業務効率化 5. 職員確保と育成 6. 職員マナー向上 7. 地域福祉拠点機能発揮 8. 防災防犯強化	1. 神田事業所の連携強化 2. 人材育成強化 3. 適正なサービスの提供 4. 地域との連携 5. 事業の客観性・透明性	1. サービス向上 2. 業務マニュアル推進・検討 3. 部署間の連携 4. 地域との協力	1. 職員の適正な役割分担 2. 自立支援計画の策定 3. 安全安心できるハード、ソフト の充実 4. 自立に向けた支援 5. ボランティアの活用 6. 地域との連携 7. 母子支援原点にかえる支援	1. 安心・安全な生活の場提供 2. たっちとの協働 3. 職員健康管理徹底 4. 職員間の連携強化 5. 各種研修の実施と参加 6. 「あるべき施設」検討 7・個別支援計画に沿った 利用者の自立支援	1. 安全・安心な利用の場提供 2. 各事業の協働 3. しらとりとの連携 4. 職員のスキルアップと 健康管理